

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	道路新設改良等事業				事業通番	4568	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策№	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策№	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課	
予算科目	会計	一般会計		款	土木費	担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路新設改良費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	道路法・会津美里町町道管理基準要綱						
事務事業の概要	町道、水路などの改良等を行い、ライフラインの安全を確保する。 狭隘な町道の改良や歩道の設置、未改良区間の改良等を行い、良好な道路交通環境を確保し、町民の利便性・安全性を図る。						
対象（誰、何を）	町道の狭隘区間						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	安全な道路の通行が確保される						
成果の考え方	町民の利便性、安全性を図る						
【成果指標】						単位	
A	測量設計延長						m
B	改良延長						m

2．事業の実績

（１）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	148,368				
国庫支出金	35,170				
県支出金					
地方債	76,400				
その他					
一般財源	36,798				

（２）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	510				
	530				
B	740				
	685				

（３）活動実績及び成果

活動実績	・町道13014号線道路改良寺崎工区及び町道30101号線歩道整備を行い、狭隘な町道の改良や歩道の設置を行った。 また、町内の水路等の整備を行い、利便性・安全性を確保した。						
成果	・良好な道路交通環境の確保が図られた。						

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 要望箇所危険度等の優先順位を付け、年次計画により整備し、良好な道路交通環境を確保し利便性・安全性を図る。
コストの方向性	現状維持	（理由） 現在においても、再生材を利用する等コスト縮減に努めており、削減の余地はない状況である。
今後の方向性	現状維持	（理由） 今後も、自治区長からの要望の順位付けを行い、利便性・安全性の向上を図る。

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	公共交通利用促進事業				事業通番	4712	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策№	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策№	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	政策企画係
	項	総務管理費		目	企画費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法、会津美里町地域公共交通会議設置要綱						
事務事業の概要	地域公共交通網形成計画に掲げる基本理念「安心して住み続けられる便利で持続可能な公共交通網の形成を目指す」に基づき、利用者ニーズを踏まえ地域内交通及び地域間交通の維持・充実を図るとともに、広域交通を担う路線バスにおいては、新たな交通拠点や目的施設を経由するなど、便利で持続可能な公共交通網を形成する。						
対象（誰、何を）	町民						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	公共交通を利用する						
成果の考え方	町民の日常生活に必要な移動手段が維持・確保され、通院や買い物、趣味活動等において外出利用が増えているかを評価とするため、以下の指標を設定する。 A：美里あいあいタクシー利用者　B：路線バス利用者 なお令和3年度より、6事業を「公共交通利用促進事業」に統合。 【B指標】は路線バス年間利用者として輸送人員実績を設定していたが、実人数ではなく数式で算出される安定的でない指標						
【成果指標】						単位	
A	美里あいあいタクシー利用者					人	
B	路線バス利用者					人	

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	53,168				
国庫支出金					
県支出金	5,803				
地方債					
その他	7,695				
一般財源	39,670				

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
A	27,450				
	22,235				
B	844				
	596				

（3）活動実績及び成果

活動実績	・路線バスの利用促進として、未就学児（年長児）を対象としたギャラリーバスを実施し、31名の未就学児が乗車した。 ・ギャラリーバスの実施にあわせて、未就学児（年長児）を対象とした路線バス試乗会を町内の4つのこども園すべてで実施した。 ・デマンド交通システムについて、現行システムの状況を確認し事業実施主体とともに次期システムの仕様の検討を行った。
成果	・家族で公共交通を利用する機会や公共交通について考える機会となり、路線バスの利用促進へとつながった。 ・デマンド交通次期システムの仕様が決まり、プロポーザル方式による事業者採用の準備ができた。

3．最終評価

成果の方向性	拡充	（理由） 町民が利用しやすく、将来にわたり持続可能な公共交通体系を構築、維持することが重要である。美里あいあいタクシーにおいては現行の配車システムを更新し更なる利便性の向上を図る。
コストの方向性	拡大	（理由） 美里あいあいタクシーにおいて、車両借り上げ料や配車システムの更新など経費増が見込まれる。
今後の方向性	有効性改善	（理由） 町地域公共交通網形成計画及び町地域公共交通再編実施計画に基づき利便性の向上を図るとともに、公共交通の利用促進に努め持続可能な公共交通体系を維持する。

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	防雪柵整備事業				事業通番	14010	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策№	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策№	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課	
予算科目	会計	一般会計		款	土木費	担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路新設改良費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	道路法、会津美里町道路管理基準要綱						
事務事業の概要	冬期間の町道において、地吹雪による視界不良等により、安全な通行に支障をきたしている状況にあるため、防雪柵を整備し道路通行の安全を確保する。						
対象（誰、何を）	冬季間の町道						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	交通事故の防止が図られる						
成果の考え方	町道に防雪柵を整備することにより、地吹雪による視界不良を防止し、道路通行の安全を確保する。						
【成果指標】							単位
A 整備延長							m
B 事故件数							件

2．事業の実績

（１）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	21,625				
国庫支出金	12,000				
県支出金					
地方債	7,600				
その他					
一般財源	2,025				

（２）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	100				
	92				
B	0				
	0				

（３）活動実績及び成果

活動実績	小沢地区の設置工事を実施した。						
成果	降雪時の地吹雪による視界不良を防止し、道路交通の安全確保が図られた。						

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 早期整備し、冬期間の道路通行の安全確保を図る。
コストの方向性	現状維持	（理由） 同一効果のあるものは見積り段階でのコスト縮減に努めており、削減の余地はない。
今後の方向性	現状維持	（理由） 冬季の地吹雪による吹き溜まりを防止すべく、防雪柵の設置を行い、安全な通行を確保する。

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	除雪対策事業				事業通番	16755	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策№	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策№	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課	
予算科目	会計	一般会計		款	土木費	担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	道路法（昭和二十七年六月十日法律第百八十号）、道路法施行令（昭和二十七年十二月四日政令第四百七十九号）、会津美里町道路管理基準要綱（平成17年10月1日告示第						
事務事業の概要	除雪を実施することで、降雪時の交通障害を解消し、冬期間の交通の安全を確保する。						
対象（誰、何を）	除雪路線（歩道を含む）						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	除雪（排雪を含む）を行い、住民の安全な通行を確保する。						
成果の考え方	除雪に対する住民の満足度 直接の数値を捉えることは困難なので、間接指標とする。除雪のクレームや要望が少なければ少ないほど満足度は高いといえる。						
【成果指標】						単位	
A	降雪により通行不能となった日数					日	
B	-					-	

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	225,502				
国庫支出金	38,455				
県支出金					
地方債	8,300				
その他	916				
一般財源	177,831				

（2）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	0				
	0				
B	-				
	-				

（3）活動実績及び成果

活動実績	地域住民の生活、経済活動を維持するために除雪、排雪を実施した。 今期は、例年にない大雪が断続し、除雪作業が遅れるなど住民生活に支障をきたした地域があった。						
成果	大雪や除雪車の故障等で除雪が遅れた場合があったが、除雪ができずに通行ができなかった箇所はない。 住民要望によるザケ対応、拡幅作業、排雪作業も集中的に実施し、おおむね住民生活、経済活動は確保されたと判断するが、例年にない大雪のため、苦情等は多かった。						

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 除雪を実施することで、降雪時の交通障害を解消し、冬期間の交通の安全を維持するために必要不可欠である。
コストの方向性	現状維持	（理由） 現在直営（町で会計年度任用職員として採用）と、業者委託により除雪を実施しているが、今後コストも含め検討が必要である。
今後の方向性	現状維持	（理由） 路線の効率化を促進し、コスト縮減に努める。

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	道路維持管理事業				事業通番	16756	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策№	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策№	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課	
予算科目	会計	一般会計		款	土木費	担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	道路法（昭和二十七年六月十日法律第百八十号）、 道路法施行令（昭和二十七年十二月四日政令第四百七十九号）、会津美里町道路管理基準要綱（平成17年10月1日告示第						
事務事業の概要	町が管理する施設全般の安全確保を図るため維持管理を行う。						
対象（誰、何を）	町が管理する町道、法定外道路、付随の歩道、水路、道路照明・街路灯						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	町道、法定外道路、付随の歩道、水路、道路照明・街路灯が安全に機能することを維持する。 具体的には、繁茂して邪魔な草木の除去、陥没等があれば修繕し、危険が予測される状況であればその危険を取り除く。 必要であれば、構造を変える修繕を実施し、住民の利便性の向上に寄与する						
成果の考え方	A：住民や区長から寄せられた要望に加え、パトロールで発見した修繕が必要な箇所について、現場を確認し修繕対応した箇所 B：道路除草が必要な箇所について業務委託契約により実施した面積						
【成果指標】						単位	
A	修繕実施箇所（道路・歩道・水路・街路灯）						件
B	道路除草実施面積						m

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	143,419				
国庫支出金	728				
県支出金	12,469				
地方債	59,100				
その他	2,976				
一般財源	68,146				

（2）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	100				
	104				
B	100				
	241,927				

（3）活動実績及び成果

活動実績	職員、公社委託によるパトロール及び各自治区長報告により、危険箇所、破損箇所の修繕を実施した。						
成果	危険箇所、要望箇所を修繕することで住民生活、経済活動の維持向上が図れた。						

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 道路等の維持管理を適切に行うことで、住民の安全確保を図る。
コストの方向性	現状維持	（理由） 施設の経年劣化が進み、事業費が増大傾向にある。
今後の方向性	現状維持	（理由） 舗装等の修繕費用が増大していることから、路線全体の舗装の打替えの促進が必要となる。

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	橋梁長寿命化補修事業				事業通番	16757	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策№	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策№	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課	
予算科目	会計	一般会計		款	土木費	担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	道路法・会津美里町道路管理基準要綱						
事務事業の概要	本町が管理する道路橋は現在156橋あり、急速に老朽化が進行している状況にある。このような背景から、今後、増大が見込まれる橋梁の修繕及び架け替えに要する経費を、予防的な対応に転換し、コスト縮減を図りながら橋梁の補修を行う。						
対象（誰、何を）	町の管理する橋梁						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	橋梁の安全が確保される						
成果の考え方	老朽化が進行する橋梁を補修することで、橋梁の安全性が確保され、長寿命化が図れる。						
【成果指標】						単位	
A	定期点検を行った橋梁数						橋
B	点検結果に基づき補修を行った橋梁数(補修設計含)						橋

2．事業の実績

（１）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	36,005				
国庫支出金	22,113				
県支出金					
地方債	3,700				
その他					
一般財源	10,192				

（２）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	34				
	50				
B	1				
	1				

（３）活動実績及び成果

活動実績	橋梁長寿命化を図るため、新田橋の次に順位の高い141号橋(宮橋)の補修設計を行い、令和4年度から工事を行う。また、橋梁定期点検の2巡目がスタートし、令和3年度に54橋の点検が完了した。						
成果	橋梁の長寿命化及び橋梁の安全性の確保を行う上で必要な補修方法が定まった。また、2巡目の定期点検により現在の橋梁の老朽化箇所等が把握できた。						

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 予防保全に努めることにより、効果的な維持管理を図る。
コストの方向性	現状維持	（理由） 補修設計の段階で材料、工法においてコスト縮減を図っており、削減の余地はない。
今後の方向性	現状維持	（理由） 今後も橋梁の予防保全に努め、延命化を図る。